

北般若だより

2026年(令和8年)3月1日
第348号
北般若自治振興会
北般若公民館

地域バス その後の動向

2月20日戸出地区自治会連絡協議会役員会にて、12月～1月の間北般若地区で進めてきた地域バスの実証運行の結果報告と、今後の展開について協議を行った。

便あたり平均1.5人が利用し、殆どの停留所からの乗降があり、行先はショッピング街で8割、残りが病院で、利用者からは一日も早い本格運行を待ち望まれた。一方で待ち時間が長い、停留所や便数の増加などの要望もあり、課題も顕著化され非常に有意義であった。

一方経費の面では、車両の運行委託料で8割を占め年間稼働の際で約600万かかることもみえてきた。

本会では迫る高齢者の事情を予見して、戸出、北般若、醍醐、是戸の4地区協働で取り組むことを決めた。

3月上旬までに各地区の代表委員を2、3人選抜して検討会を立上げ、3月中に国及び県に実証運行事業の申請を行う。その後運行ルートや時刻表など具体化して、全体での実証運行(令和9年1月末まで)を開始する。 乞うご期待!!

林志訓氏 新戸出西部金屋自治会長就任

戸出西部金屋の総会にて承認して頂き、8年度より自治会長を務めさせて頂く、林志訓(63歳)と申します。どこの自治会も同様と考えていますが、少子化の流れと勤務延長により活動の担い手がなかなか見つからない現実があります。それでも継続させていく以上は何とかなければなりません。役員世代交代は必定ですが、事情があつて断れない状況であつたり、将来的に存続不能な団体・法人等や活動には、代替案含めて検討していかなければと強く感じています。その様な発信者として協力者の発掘と創造的な工夫を行い役員各位や会員と共に検討・協議をして行きたいと考えていますので、宜しく願い致します。



“小泉八雲と富山ゆかりの人々”

2月22日(日)北般若公民館講演会を開催しました。“春の歩みが近づいている”を実感する暖かい日。お陰様で57名の大勢の皆さんにご聴衆頂きました。

演題は、『小泉八雲夫婦と富山のつながり』。NHK連続テレビ小説「ばけげん」で注目の小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)と富山の繋がりです。八雲は怪談を世に広め、紀行文の名手でもあつたと講師の大村歌子さん(郷土史研究家・富山八雲会会員)が分かりやすく八雲の年表を辿ります。八雲40歳と妻セツ22歳との出会いから結婚、住まいも松江から熊本、神戸、東京へと点々とした経緯を知りました。

講演途中、『雉子の話』と『ムジナ』の怪談を山田妙子さん(八雲会)による朗読を挟みすっかり八雲ワールドに浸っていききました。

次に、富山に訪れたことのない八雲の蔵書が富山大学図書館『ヘルン文庫』としてなぜ所蔵しているのか? その疑問解明に登場する人々のつながりへと進みました。

「八雲の蔵書を大切にしたい」と懸命に動いた人々。馬場はる(東岩瀬で回船問屋を営む)は、旧制富山高等学校開学に貢献し、八雲の蔵書を寄贈しました。南且恒太郎(初代旧制富山高等学校校長)、田部隆次(南日の弟、八雲の愛弟子で英文学者)などの働きで八雲と富山が繋がり文化的交流、地域との繋がりを生んでいるといひます。

最後に、馬場はると戸出の建築家、吉田鉄郎のつながりも伺いました。吉田鉄郎は戸出物産創業者で町長の吉田仁平家に養子に入りました。馬場家の建築にも携わり、その一つが旧馬場家牛込邸、最高裁判所長官公邸(重要文化財指定)です。他、東京・京都中央郵便局、など多々設計しました。保利進さん(吉住出身)の「風にゆれる道草」の紹介もありました。 公民館 青島幸子



消防北般若分団 優良表彰

当地区は市消防団北般若分団が担当しています。消防団は、災害時と平常時の両方で重要な役割を担っています。災害時は、「消火活動」、「救助・救出活動」、「災害防御活動」を実施しています。平常時は、「防火指導」、「巡回広報」、「特別警戒」、「応急手当指導」、「教育訓練」を実施しています。令和8年の新春出初式では、北般若分団として、規律厳正にして、業務に熟達し、かつ、消防施設の整備保全に努め、その成績が優良であつて、他の分団の模範であると認められ「優良表彰」、林孝儀(吉住)団員が「15年精勤表彰」を受賞しました。



現在も当消防団は、引き続き「新入団員募集中」です。貴方も地域の防災リーダーとして活躍してみませんか。 北般若分団 分団長 長谷川利明

とやまクラリネット友の会♡toiro 県代表に

吉住在住の木村佐智子さんが所属する「とやまクラリネット友の会♡toiro」のアンサンブル5重奏チームが、令和8年1月25日砺波市文化会館で開催された第60回富山県アンサンブルコンテストの職場・一般部門にて1位(金賞・県代表)に選出されました。当会は100名超の大所帯ですが、このチームは、上位を目指し練習量は県内で1番多かったとのこと。また昨年の北般若音楽祭にも出演されており、その時演奏された「波影」にて見事1位に輝きました。2月8日には、県代表として福井で開催された北陸アンサンブルコンテストに出場され、惜しくも銀賞とのことでした。今度の3月29日には、彦根で開催される中部日本個人・重奏コンテスト本大会にも出場予定とのことで、みんなで応援しましょう。



後列中央 木村佐智子さん

北般若地区等の動き

- 3/12 戸出中学校卒業式
- 3/13 戸出東部小学校卒業式
- 3/19 なのはな元気教室 3/22 全集落の江ざらえ



エスエイチ(株)の紹介

私は西部金屋に生まれ、平成15年に、スマイルとハッピーの頭文字をコンセプトに「エスエイチ(株)」を開業。戸出の地をはじめいくつかの事業を進めてきたのでこれを紹介します。

◆春日の家
介護施設ですが、堅苦しい場所ではなく自宅にしているような「気兼ねのなさ」と「慣れ親しんだ安心感」を提供しています。

◆「イェトカフェ戸出春日」
「介護施設はちょっと・・・」という方も「ちょっとコーヒーを飲みに」という気軽な気持ちでお越し頂けます。そして昼食をしてお風呂も大丈夫。ご本人様にとっていつのまにか心地よく過ごせる場所であり、ご家族様にとっても大切な方が無理なく笑顔で過ごせる安心の場です。そんな双方に寄り添うサービスを目指しています。

◆年末に新しく挑戦しているのが「ブルドッグパーク」
戸出町に住むより多くの世代の活気が集まる場所として、ここは①地域の健康②子供の成長③子育ての3つの基本理念を掲げて運営しています。

① 朝6時から営業全天候型レンタルコート

富山の厳しい天候や冬の寒さも、エアコン完備の屋内コートなら心配いりません。朝6時から開いていますので、早朝の運動やレクリエーションなど、地域の皆様でぜひ集まって使ってください。

② 子供たちの心身を育むプレーパークプロジェクト

放課後等デイサービスを利用する子供たちが、広々とした空間で伸び伸びと体を動かしています。専門的な支援を通じ、運動の喜びや社会性を育てています。

③ 毎日集えるコミュニティ! サッカープレーパーク

定額で通い放題の運動と学習を複合させた場です。富山の気候に左右されず、子供たちが毎日集い、親子や友人との絆を深める「あきらめない子育て」を応援する拠点です。引き続き地域の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。 詳細は弊社のホームページで!

同社代表 喜多晴樹